

教科名	小学校 国語科	学 年	第4学年
単元名	短歌の世界	児童数	28名
		授業者	市原 秀樹
1 単元の目標			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむことができる。 〔知識及び技能〕 (3)ア ・ 文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などに違いがあることに気付くことができる。 〔思考力、判断力、表現力等〕 C(1)カ ・ 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 「学びに向かう力、人間性等」 			
2 単元の観点別評価規準			
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。(3)ア) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、自分が選んだ短歌について、自分の考えをもって音読を工夫するとともに、感じたことや考えたことを共有し、伝え合うことを通して一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。(C(1)カ) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 進んで短歌を音読したり視写したりするなどし、学習の見通しをもって、言葉のリズムを楽しんだり様子や気持ちを想像したりしようとしている。 	
3 自分の考えを表現し合い、学びを深める子どもの育成に向けた手立て			
(1) 考えの根拠をもち、多様な表現で伝えようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 短歌を読み、選んだ理由や好きな言葉、音読の工夫のポイントについてワークシートに書くようにする。 ・ 短歌を選んだ理由や音読の工夫を意識して、音読に取り組む時間を設定する。 			
(2) 他者や自己との対話を通じ、考えを広げようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> ・ グループで音読し合い、ワークシートに書いたことを伝えてから音読することで、お互いに音読の工夫を意識しながら読んだり聞いたりできるようにする。 ・ 音読後、よかったところやアドバイスを付箋に書いて交流する時間を設定する。 			
(3) 対話を通して得られた様々な情報を精査して、自分の考えを再形成しようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 付箋による交流で得た友達の意見を基に、自分の音読の仕方を振り返り、自分の音読を更に高める工夫を考えるようにする。 			
(4) 自分の学習活動を振り返り、学んだことを次につなげようとする姿			
<ul style="list-style-type: none"> ・ グループでもう一度音読し合い、ワークシートに感想などを書く時間を設定する。 			
4 単元で提示する振り返りの視点			
① 分かったことやできるようになったこと（学びの自覚）			
⑧ 本時の課題とまとめ（学習集団や自己の課題）			
⑩ 自分の考えがどのように変わったか（認知の過程）			
⑬ 友達の書いた振り返りを読んで気付いたことや考えたことを生かす（他者の振り返りを自分の学びに生かす）			

5 単元の指導と評価の計画（全4時間）			
時間	学習課題（◆） 主な学習活動（○）（対話の視点）	振り返りの視点	評価の観点【】 評価規準
1	<p>◆短歌について知り、好きな短歌を決めよう。</p> <p>○ 教科書を読み、短歌の特徴について知る。</p> <p>○ 気に入った短歌を1つ選び、選んだ理由や言葉、音読の工夫などをワークシートに書く。</p>	⑧	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・易しい文語調の短歌を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しんでいる。（観察） <p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ短歌について、自分の考えなどを書いたり、音読を試したりしている。（観察・ワークシート）
2 ・ 3	<p>◆くふうのしかたを決めて、短歌を音読しよう。</p> <p>○ 自分の選んだ短歌について、ワークシートに書いたことを意識しながら、音読の練習をする。</p> <p>○ グループごとに、選んだ理由や音読の工夫について伝え合いながら、音読の発表をする。</p> <p style="text-align: right;">（焦点化する）</p> <p>○ 音読を聞いて思ったことやアドバイスなどを、付箋に書いて交流する。</p> <p style="text-align: right;">（評価する）</p> <p>○ 友達の付箋を基に、自分の音読について振り返り、更に音読の仕方の工夫を考える。</p> <p>○ グループでもう一度音読の発表をし、音読した感想などをワークシートに書く。</p>	① ⑧ ⑩ ⑬	<p>【思・判・表】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が選んだ短歌について、自分の考えをもって音読を工夫するとともに、伝え合うことを通して一人一人の感じ方などに違いがあることに気付いている。（観察・ワークシート） <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで短歌を音読し、言葉のリズムを楽しみながら様子や気持ちを想像したりしようとしている。（観察）
4	<p>◆短歌の世界を広げよう。</p> <p>○ 選んだ短歌を書き写したり、感想を書いたりする。</p>	① ⑧	<p>【知・技】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・短歌を音読したり視写したりするなどして、言葉の響きやリズムなどに親しんでいる。（観察） <p>【態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで短歌を音読したり視写したりするなどし、短歌を楽しんだり様子や気持ちを想像したりしようとしている。（観察・ワークシート）